

## はじめに

福岡市保健環境研究所は平成9年5月に本市の保健及び環境に関する中核的な調査研究施設として開所し、その後、平成12年度の廃棄物試験研究センターの編入や平成15年度の企画調整課の新設等組織を拡大しながら、保健・環境・廃棄物に関する総合的技術的な研究機関として拡充整備してまいりました。

今年は2月に京都議定書が発効し、地球環境問題の節目の年となりました。今後京都議定書の目標達成に向けどのような取り組みを進めていくかが課題となっています。また、高病原性トリインフルエンザウイルス等の病原体や生物兵器、アスベストなどによる健康危機管理の問題も課題となっています。

そのような中、平成16年度は、福岡市保健環境研究委員会からの助言のもと、平成15年度に発足させた博多湾再生研究会やエコ処理研究会の継続実施による調査研究の推進を行い、アマモの移植・播種試験や、生ごみや剪定枝を基材とした堆肥化物の調査を行いました。また、BCテロ発生時の対応能力や相互の連携機能を高めるため、実地訓練を伴った健康危機管理合同研修会を福岡県警、福岡市消防局と共に実施しました。さらに、食品衛生法等の改正による残留農薬等のポジティブリスト制導入に対応するため、分析法の検討を行っています。

こうした福岡市保健環境研究所の成果をまとめた平成16年度所報ができあがりました。皆様の研究の一助となれば幸いです。

なお、福岡市保健環境研究所は、ホームページでも情報発信に努めておりますので、こちらの方もご活用いただければと思います。

平成17年9月

福岡市保健環境研究所  
所長 山崎 敏隆